

2020年3月期 第1四半期 業績概要

窪田 顕文

アンリツ株式会社
取締役
専務執行役員 CFO

2019年7月31日

Beyond
2020



5G Testing
Anritsu



東証第1部 : 6754
<https://www.anritsu.com>

Anritsu
envision : ensure

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

- I. 事業概要
- II. 2020年3月期第1四半期 連結決算概要
- III. 2020年3月期 通期業績予想（連結）
- IV. 5Gのサービスロードマップと
テストソリューション

I. 事業概要

T&M事業

ネットワーク社会の進化・発展

- ▶ モバイル市場 : 5G, LTE
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : 有線・無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 電子部品、無線設備



PQA事業

食の安全・安心

- ▶ X線検査機
- ▶ 金属検出機
- ▶ 重量選別機



その他

- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス



(セグメント別売上比率) 2019年3月期 実績 (連結) : 997億円

T&M 68%			PQA 23%	その他 9%
モバイル 53%	ネットワーク・インフラ 26%	エレクトロニクス 21%		

(T&M事業 地域別売上比率)

日本 19%	アジア、パシフィック 33%	米州 32%	EMEA 16%
-----------	-------------------	-----------	-------------

T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 1. 連結決算概要 - 業績サマリー -

▶ 前年同期比増収、増益

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前第1四半期 連結会計期間 (4-6月)実績	当第1四半期 連結会計期間 (4-6月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	226	272	46	20%
売上高	210	232	22	11%
営業利益	16	27	11	65%
税引前利益	18	25	7	44%
当期利益	17	18	1	5%
当期包括利益	21	8	△ 13	△ 61%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ - 2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

 T&M：5G初期開発需要は順調

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		前第1四半期 連結会計期間 (4-6月)実績	当第1四半期 連結会計期間 (4-6月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
T&M	売上高	144	173	29	20%
	営業利益	15	28	13	82%
PQA	売上高	49	41	△8	△17%
	営業利益	2	△2	△4	-
その他	売上高	17	18	1	9%
	営業利益	1	3	2	176%
調整額	営業利益	△1	△2	△1	-
合計	売上高	210	232	22	11%
	営業利益	16	27	11	65%

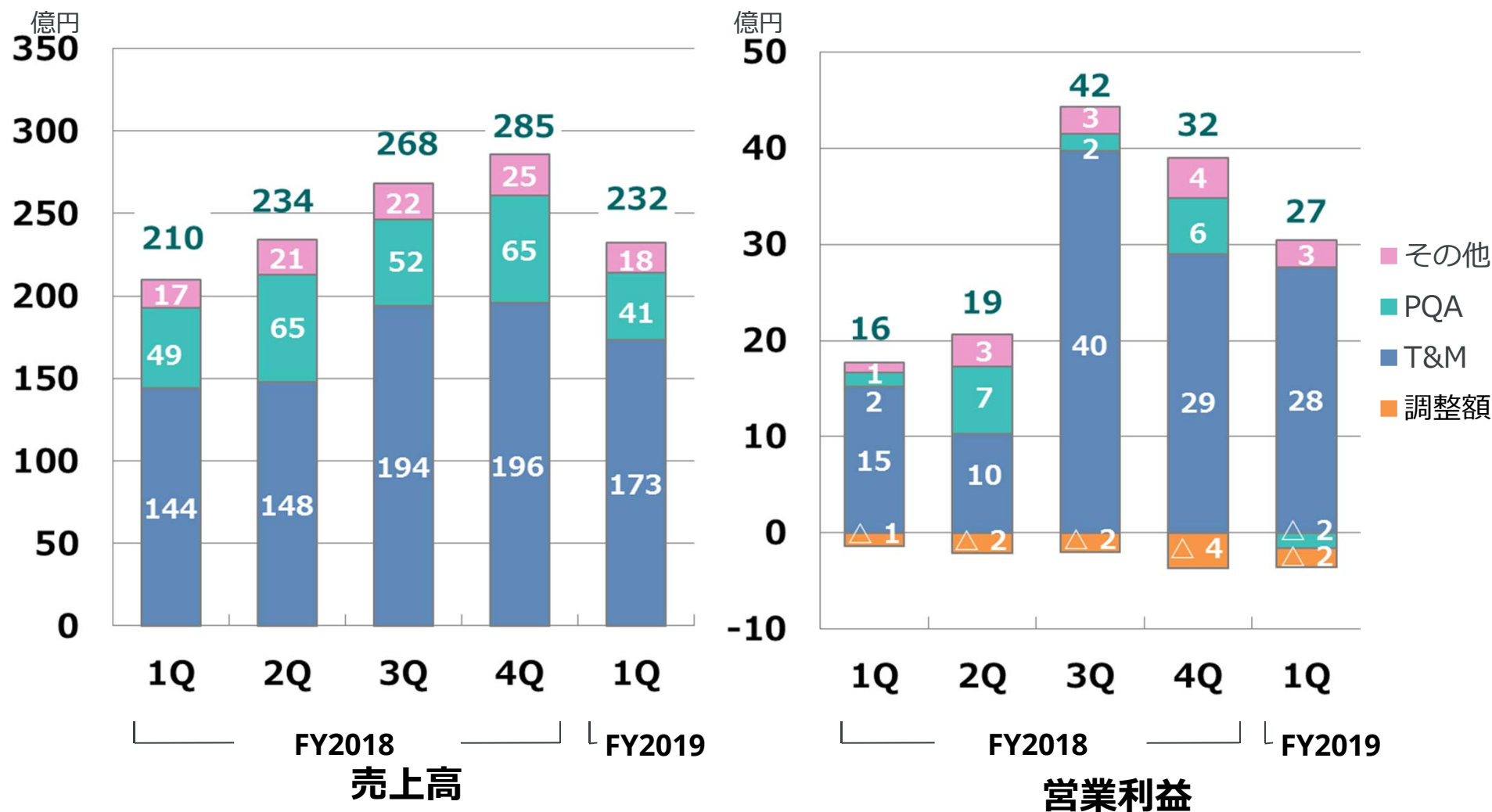
(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(注2) 調整額にはセグメント間取引消去、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれています。

T&M: Test & Measurement PQA: Products Quality Assurance


Ⅱ - 3. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

➡ 1Q(4-6月)営業利益率：連結12%, T&M16%



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

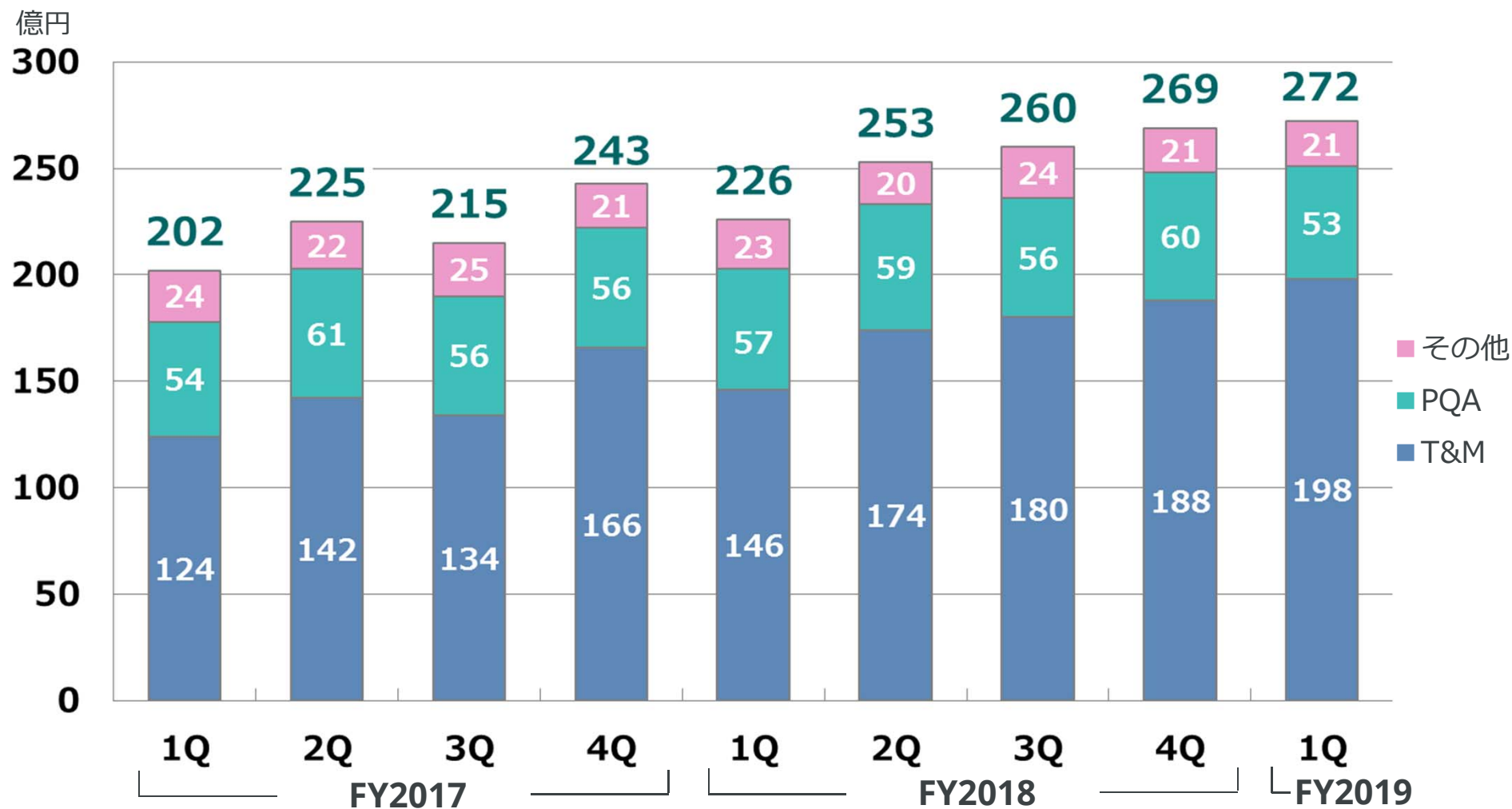
Ⅱ - 4. 事業別営業概況

セグメント		2020年3月期第1四半期（4月-6月）の状況
 T&M : 5G商用化スケジュールが順調に進展		
モバイル	LTE	LTE-Aの投資は抑制・縮小が続く
	5G	5G開発の需要が順調に推移
Network Infrastructure		5Gネットワークの整備が始まる
アジア	5G関連の投資が拡大	
米州	主要オペレータの5Gサービス開始	
PQA : 国内・海外食品市場において、大口顧客の投資が狭間に入る		

T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 5. 受注高推移

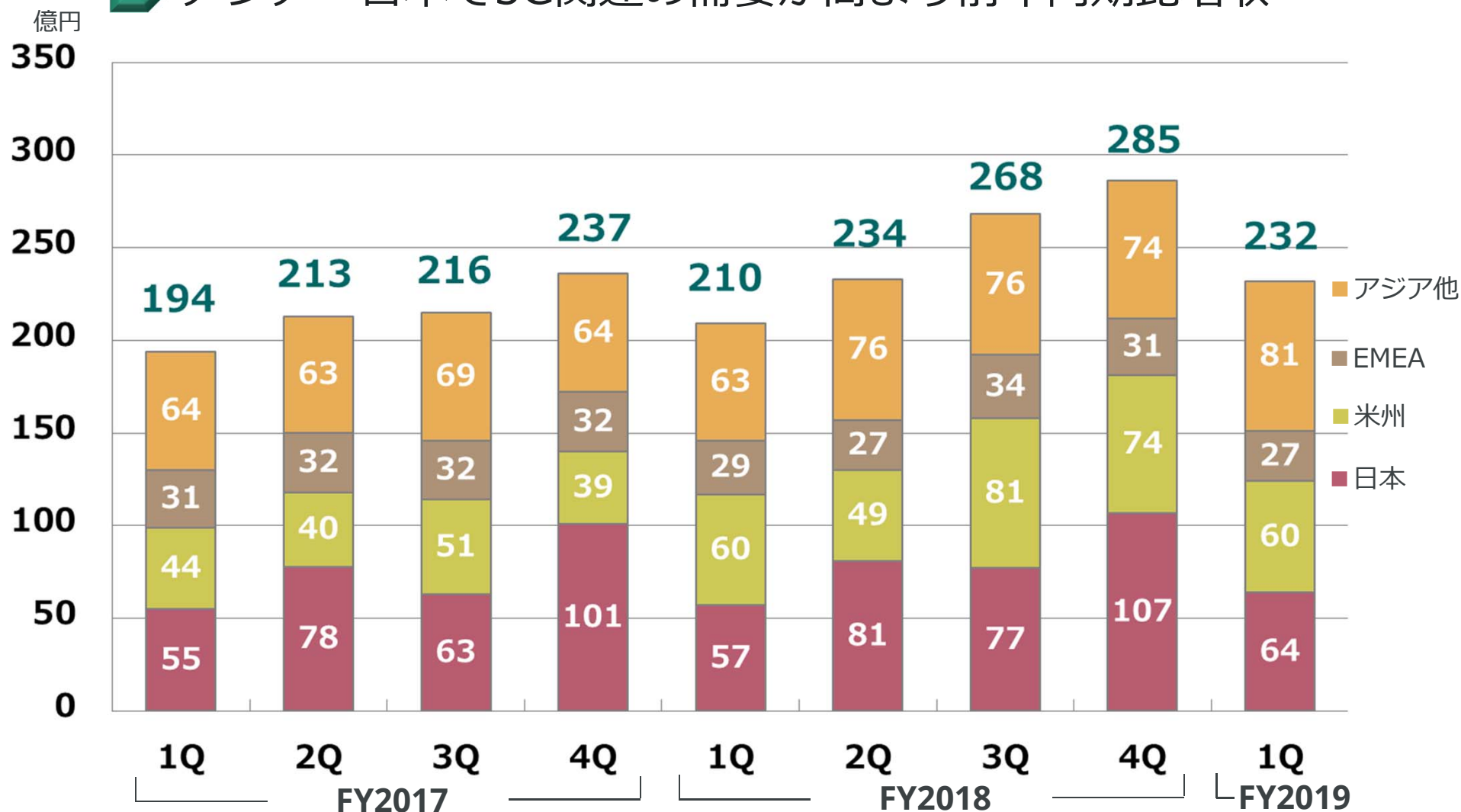
➡ T&M：前年同期比35%増



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ - 6. 地域別売上高推移

▶ アジア・日本で5G関連の需要が高まり前年同期比増収



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

II - 7. キャッシュフロー

➡ 営業CFマージン率20.4%

FY2019 1Q

- ①営業CF： 47億円
- ②投資CF： △ 7億円
- ③財務CF： △ 18億円

フリーキャッシュフロー

(① + ②)： 40億円

現金同等物期末残高

467億円

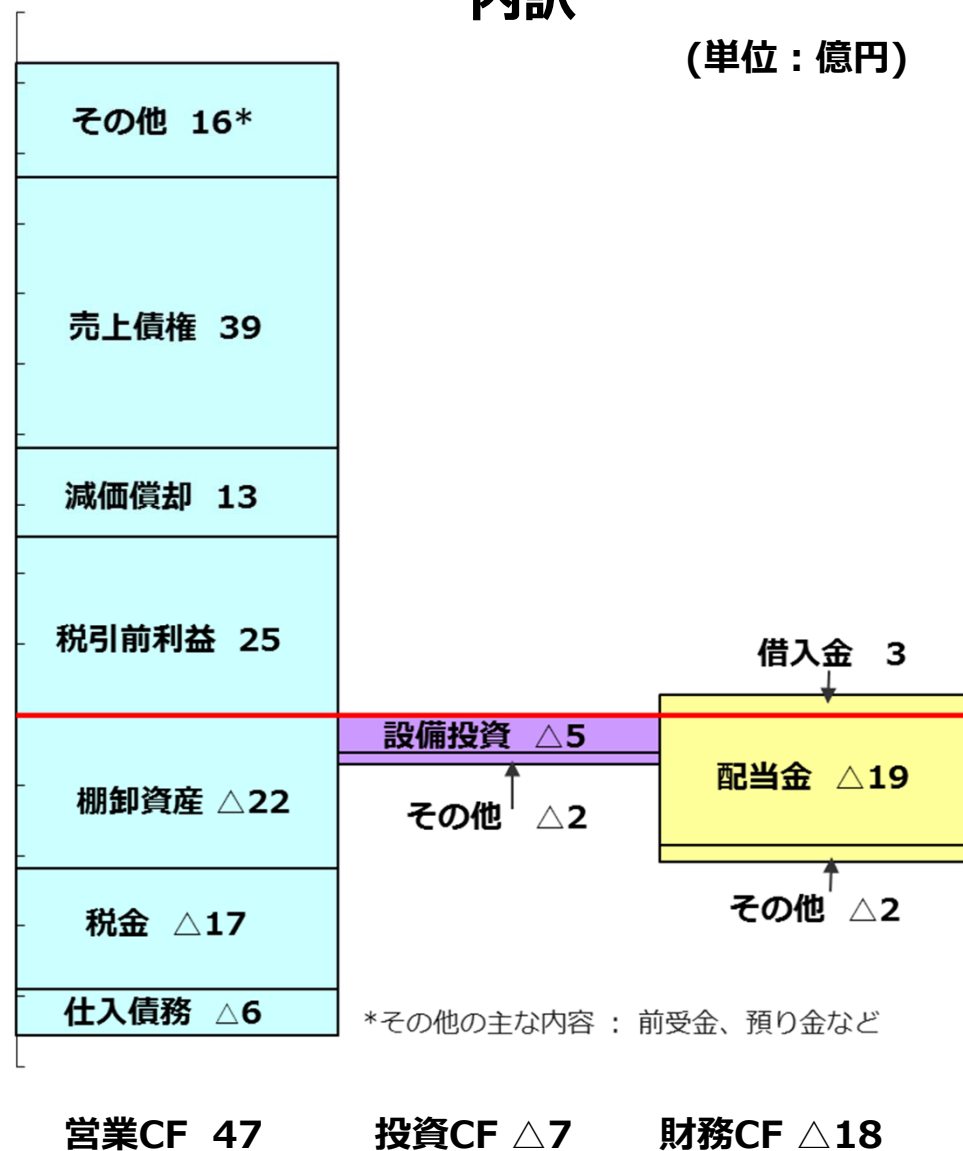
有利子負債高

165億円

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

内訳

(単位：億円)



Ⅲ. 2020年3月期 通期業績予想（連結）

➡ 4月25日公表値のとおり

（単位：億円）

		2019/3期	2020/3期		
		前期実績	通期予想	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
売上高		997	1,020	23	2%
営業利益		112	100	△ 12	△ 11%
税引前利益		114	100	△ 14	△ 12%
当期利益		90	75	△ 15	△ 17%
T&M	売上高	682	690	8	1%
	営業利益	94	80	△ 14	△ 15%
PQA	売上高	231	245	14	6%
	営業利益	16	20	4	24%
その他	売上高	84	85	1	1%
	営業利益	11	9	△ 2	△ 21%
調整額	営業利益	△ 9	△ 9	0	-

（注）値はそれぞれの欄で四捨五入

（参考）FY18為替レート : 1米ドル111円、1ユーロ=128円
 FY19想定為替レート : 1米ドル105円、1ユーロ=125円

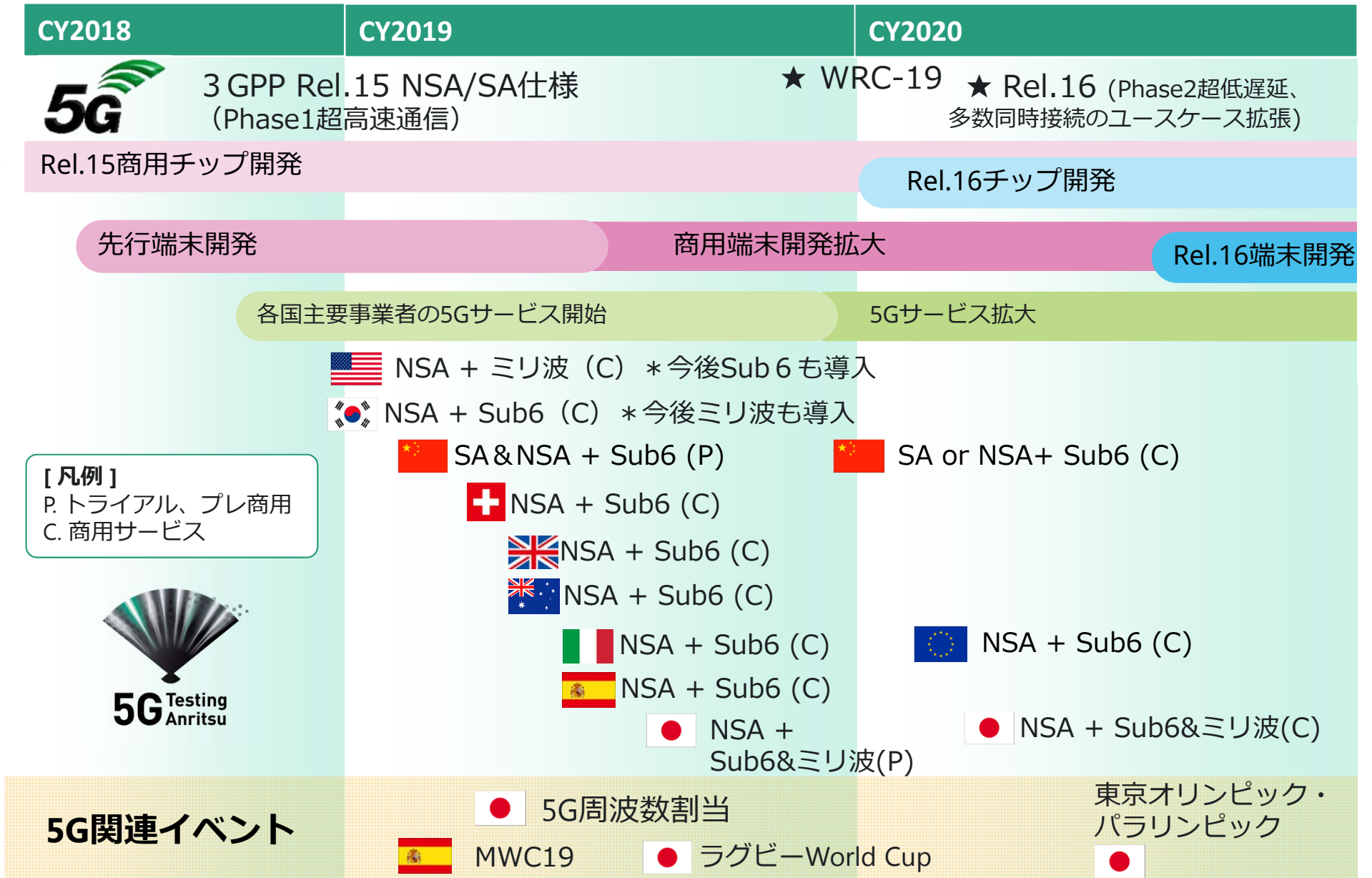
IV. 5Gのサービスロードマップと テストソリューション

アンリツ株式会社
代表取締役 社長

濱田 宏一

IV- 1. 5Gサービスのロードマップ

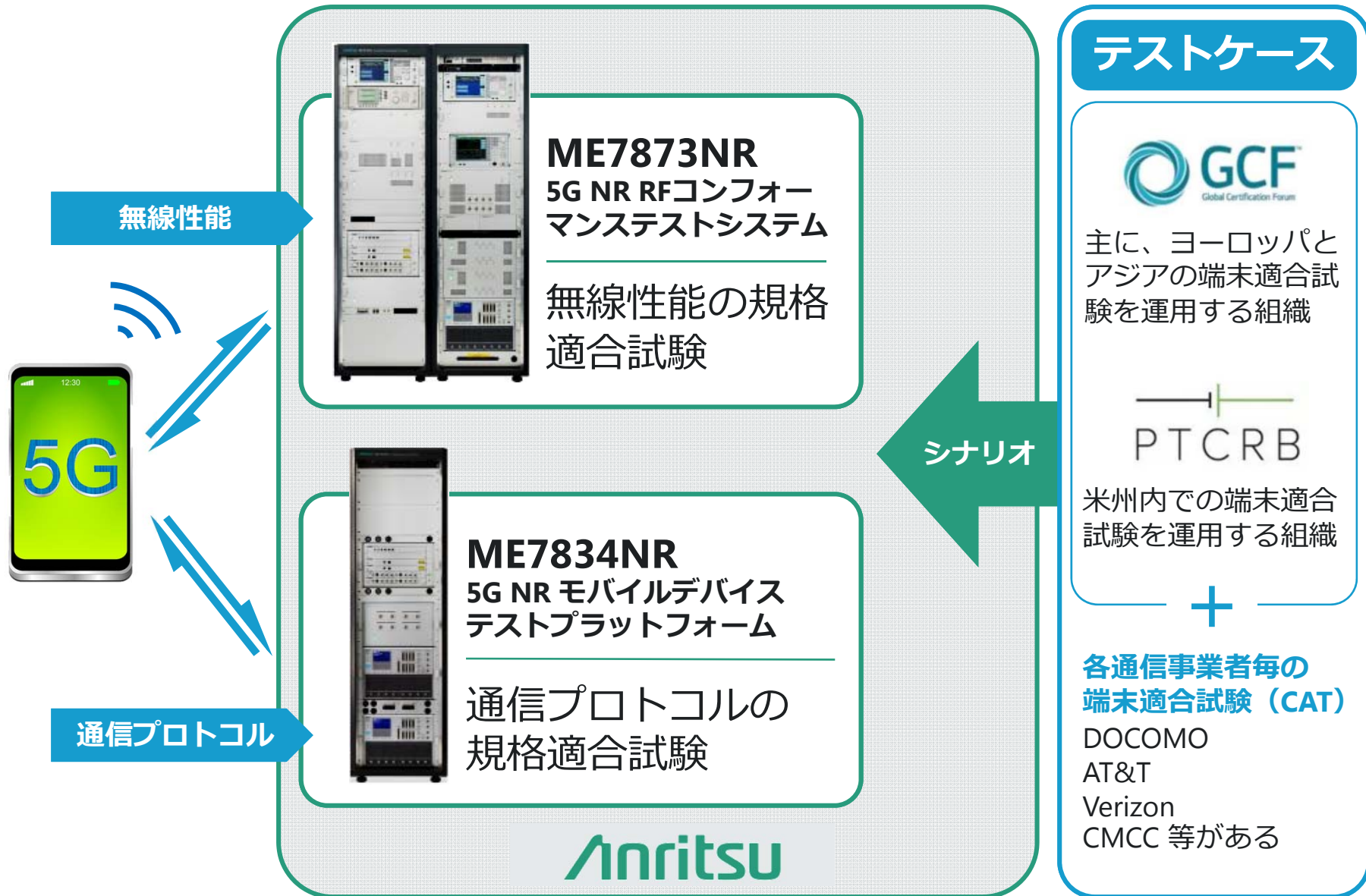
* 出所：一般公開情報を参考
参考に当社作成



IV- 2. 5Gテストソリューション



IV- 3. 5Gテストソリューション コンフォーマンス試験



IV- 4. 5Gテストソリューション 基地局建設・保守

5G NR基地局のフィールド性能測定やカバレッジマッピング

フィールドマスタプロ MS2090A

- 周波数範囲：9 kHz～9/14/20/26.5/32/43.5/54 GHzをサポート
- 5G基地局だけでなく、既存のGSM、LTEなどもサポート
5G復調にも対応
- 54 GHzまでの送信スプリアス測定



使用例：5G NR基地局測定

3GPP TS 38.104 V15準拠のgNB基地局パフォーマンス検証

- 周波数エラー・占有帯域幅
- タイムオフセット・隣接チャネル漏洩比
- セル/セクタID・12.75 GHzまでの送信機スプリアス
- 変調品質・EIRP
- 不要放射・同期信号ブロック (SSB)
- FR1、FR2双方に対応・最大64ビームに対応

使用例：5Gカバレッジマッピング

チャンネルパワー、EIRP、またはRSRPを含むRFデータを連続測定し、特定の場所における5Gの信号強度を地図上に表示。測定結果をデジタルマップや建築物平面図にグラフ表示。





Anritsu
envision : ensure

